

行政事業レビューシート (内閣府)						
予算事業名	科学技術関係予算の改革		事業開始年度	平成18年度	作成責任者	
担当部局庁	政策統括官 (科学技術政策・イノベーション担当)		担当課室	参事官(資源配分担当)	須藤 憲司	
会計区分	一般会計		上位政策	科学技術政策の推進		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	内閣府設置法(平11法89)第26条		関係する計画、通知等	第3期科学技術基本計画 (平成18年3月28日閣議決定) 平成22年度の科学技術に関する予算等の資源配分の方針 (平成21年10月8日総合科学技術会議決定)		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	重点化・効率化した科学・技術関係予算の編成に向けて、科学技術政策担当大臣及び総合科学技術会議有識者議員が、各府省の概算要求施策について、その重要性等を判断する優先度判定(SABC判定)を実施する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	・概算要求施策の優先度判定を実施するため、科学・技術の専門家を招聘して、各府省の概算要求施策のヒアリングを実施する。 ・当該ヒアリングにおける科学・技術の専門家の知見を踏まえ、概算要求施策の改善・見直しの指摘を行う等、科学・技術予算編成の重点化・効率化に向けた取組を行う。					
実施状況	各府省の概算要求施策のヒアリングを実施し、科学・技術の専門家を招聘し、意見及び改善・見直しに向けた指摘等を聴取した。これらは、「平成22年度概算要求における科学技術関係施策の優先度判定について」(平成21年12月9日総合科学技術会議報告)に反映させた。(判定結果はウェブ上で公開) 本報告は、科学・技術予算編成の重点化・効率化に貢献した。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	14	10	6	7	6
	執行額	10	3	5		
	執行率	71%	30%	83%		
	総事業費(執行ベース)	10	3	5		
自己点検	支出先・使途の把握水準・状況	十分に把握している。 ・専門家のヒアリング、会議に必要な経費、関係者への会議出席等のための支払いは規定に従い会計担当部門が直接実施しており支出先・使途を十分に把握している。				
	見直しの余地	引き続き、ヒアリングを可能な限りまとめて実施することにより、費用の節減を図る。				
予算監人の所効見率化	総事業費のうち大半を占める諸謝金・旅費について、出張時の割引航空運賃の活用や事務費の節減等、更なる効率化に努めるとともに、ヒアリング開催回数の見直しやヒアリング開催実績等を踏まえ、予算額の削減を含めた事業内容の見直しを図るべき。					
補記						

政策統括官(科学技術政策・イノベーション担当)  
4.6百万円

総合科学技術会議関連経費(謝金、旅費等)  
4.3百万円

優先度判定に関するヒアリングを開催し、判定結果に活用する。また、優先度判定結果を製本するとともにウェブ上で公開した。

優先度判定に関するヒアリングの開催に必要な謝金、旅費の経費等

【随意契約(少額)】

A. ㈱キタジマ  
0.3百万円

優先度判定結果の印刷製本を印刷業者に依頼

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)

A. 糊キタジマ			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
印刷製本代	「平成22年度の科学技術関係施策の優先度判定について」の印刷製本	0.3			
計		0.3	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)